



田村 大介 (たむら だいすけ)

1971年6月8日生まれ。東京都世田谷区出身。少年時代クラシックギターを習う。一方で、父の影響からRoy Acuff、The Carter Family、Hank Williamsなどのカントリーミュージックを聴いて育つ。大学時代よりライブバーやイベントで歌いはじめる。現在、都内をはじめ各所のライブハウスでソロ活動に加え、バックバンドと共に歌う日々を続けている。純粋に歌だけを聴かせるその姿勢は多くの支持を集める。ボイスクオリティーの高さに加え、正調カントリーミュージックの伝統を継承し、更にモダンなテイストを取り入れることを持ち味とする。彼の選曲のセンスも高く評価され、幅広い年代のファンを持つ。2009年第21回熊本カントリーゴールドに初の日本人出演。次世代を担う後継歌手の不在が危惧される中であって、更なる飛躍が期待される正統派男性カントリーシンガー。

Mockingbirds

大江 俊幸 Pedal Steel Guitar

日本大学Ghost Riders、Circusを経験。ジミー時田 & Mountain Play Boys、銀座ナッシュビルのハウスバンド・小寺八 & Super Pickersに長年在籍。冴樹みずほ、坂本孝昭、ささ木ゆうこ、田村大介等をサポート。「ムッシュ」の愛称で親しまれ、ヴォーカル陣から厚い信頼を寄せられている。高度なテクニックに裏付けされた音楽性で、カントリーヴォーカリストを強力にバックアップする。日本のカントリーシーンには欠かすことのできない一線級のスティールギタリスト。



北口 博之 Guitar

14歳の時ベンチャーズに触発されギターを始める。2000年元ベンチャーズ・リードギター、ノーキー・エドワーズに師事。モリダイラ・フィンガー・ピッキング・コンテスト2年連続優秀賞受賞(2002~2003年)。TABスクール賞受賞(2002年)。2004年11月第六回中国上海国際芸術祭出演。2005年9~10月 単身渡米(テネシー州、ナッシュビル)。現在、カントリーミュージックのクラブ等をメインに東京及び関東圏で活動中。



ますこ たかのり

Bass Guitar & Chorus

1971年9月8日生まれ。新潟県新潟市出身。1998年より金平隆 & The Texas Companyに加入。田村大介のデビュー当時のバンドメンバーである。日本人離れた天性のリズム感を持ち、殊にカントリーミュージックには特化した才能を発揮する。現在は東京都内を中心に様々なバンドのサポートメンバーとしても活動中。



吉田 宏治 Drums

1983年よりプロとして活動を始め、おたか静流、岸本一遥“VOICE FROM ASIA”、元THE GOODBYEの加賀八郎らとのロック・バンド“えじら”など、様々なスタジオ、サポート、バンド活動を経る。重量感のあるバックアップと多彩なテクニックを併せ持つ、カントリー界トップクラスのドラマー。

塩崎 容正 Piano

大阪府出身。JAZZギタリストとしてミュージシャン活動をはじめ。松本英彦、市川秀男、今田勝、稲垣次郎、大野えり、野力奏一、タモリ等のグループに参加。1983年 Fusion系グループサファリを結成・VAPレコードよりデビュー。タイトル曲(塩崎作品)は、長くプロ野球ニュースのテーマとして使用される。以後、活動の場はスタジオ中心となり、ギタリスト以外に、キーボディストとして活動の後、現在は作編曲を中心に活動。現在までに、CM作曲400曲以上、多くのTV関係の音楽を作編曲。現在、NHKの時論・公論、西日本の旅、ラジオニューススポーツコーナー、フジTVすぽるとBGM、等が放送中。現在、ソウルマニアというグループでCDデビュー、欧陽菲菲コンサート音楽監督。Jazzスタンダード全集を制作したり、クラシックからアキバ系まで、さまざまなジャンルの作編曲を提供している。

